

南三陸町合併20周年記念ロゴマークが決まりました。

町内の中高生を対象にしたデザイン募集で、
南三陸高校2年の山内咲来菜さんの作品が最優秀賞に選ばれました。
このロゴマークは、合併20周年の記念事業で活用されます。



最優秀作品 南三陸高等学校2年 山内咲来菜 さん



優秀作品
歌津中学校2年 及川真乃愛 さん



優秀作品
南三陸高等学校3年 伊藤 芽衣 さん

新たな一步を踏み出す時
南三陸町長 佐藤 仁



南三陸町は、本年、合併20周年という大きな節目を迎えました。
平成17年10月1日、旧志津川町と旧歌津町が合併して誕生した「南三陸町」は、町民の皆さまの思いとともに歩んできた歴史の積み重ねの上に今を刻んでおります。

この20年の道のりは、決して平坦なものではありませんでした。特に、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による大津波で、これまで積み上げてきた町のあらゆるものが一瞬にして失われ、多くの尊い命が犠牲となりました。町の機能そのものが壊滅的な被害を受け、私たちは生きること、支え合うこと、そして立ち上がることの意味を深く問いたただれる日々が続きました。

加えて近年においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、町民生活や地域経済に少なからぬ影響が及びましたが、町民の皆さまの協力により困難

を乗り越え、地域の絆を守り続けることができました。

東日本大震災の発災後、町は全国・全世界の皆さまからのご支援をいただきながら、「命を守るまちづくり」を掲げ、一歩一歩着実に復興への歩みを進めてまいりました。高台移転による住宅再建や防災集団移転、地域医療体制の再構築、教育・福祉施設の整備、そして震災の記憶を未来へと継承する取組など、多くの分野において町の新たな姿が形づくられています。

町民の皆さまのたゆまぬ努力と互いに助け合う絆こそが今日の南三陸町の原動力となっており、震災を経た町の経験は、全国各地における防災・減災の取組にも活かされ、私たちの歩みは広く社会に貢献するものともなっております。

しかしながら、今なお解決すべき課題は多く、人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化、持続可能な行政運営など、

民一丸となって町を再生することができたことに対し、あらためまして感謝申し上げます。

公共施設やインフラ等は震災の復興事業により新しく整備され、様々な環境が飛躍的に向上しましたが、町の資源をはじめ、これらの効果をより高め、そして維持していくのは住民あつてのものだと考えております。これまでも、住民主導のもと各々の地域で活性化を目的として取り組んでいただいておりますが、少子高齢化・人口減少が進む中であつて、今後その重要性が増してきております。二元代表制の一翼を担う町議会といたしましても、町民の皆さまが、本町に住む幸せを次世代につなぐことができるよう

う、町の発展と安心・安全、そして、心豊かに暮らせる持続可能な町の実現に向け、研鑽を重ね、全力で取り組んでまいります。

結びに、南三陸町の未来に向けて、皆さまと共に歩んでいけることを楽しみにし、この20周年を契機とした南三陸町のますますの発展と、町民の皆さまのご健勝をご祈念申し上げます。お祝いの挨拶いたします。

将来に向けたまちづくりが問われており、これまでの20年を振り返りつつ、町民一人ひとりが主役となって未来を描く、新たな一步を踏み出す時であると考えております。

南三陸町はこれからも、「自然と人が調和し、誰もが安心して暮らせるまち」を目指し、希望ある未来に向かって歩み続けます。私たちのふるさとを次の世代へと誇りをもって引き継ぐために、町民の皆さま、そして町に関わるすべての方々と心を一つにして、取り組んでまいります。

この合併20周年という節目にあたり、町のこれまでの歩みを振り返るとともに、あらためて町民の皆さまのご理解とご協力、そして各方面からのご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。